

■前年比103%、総志願者数微増も、実受験者数は減少！■

■志願者増と減、明暗くっきり

2021年度の入試では、広島市の中高一貫の国立・公立・私立中学校は全15校（広大附属・市立広島・広島学院・修道・広島城北・ND清心・広島女学院・安田女子・比治山女子・山陽女学園・広島なぎさ・崇徳・AICJ・広島国際学院・ひろしま協創）が生徒募集を行いました。この15校の2021年度中学入試総募集定員は2,170名、この定員枠に対して合計8,205名が出願（エリア外で会場入試を行ったAICJ中自己推薦入試を除き、複数回入試を実施した中学校の重複出願者を延べで計算）。前年の出願者数7,992名と比較して213名増加し、前年比で103%、3年連続の志願者増となりました。

2019年度入試では新設校が中学受験意欲を刺激し、2020年度入試では、入試日程の変更をはじめとする入試改革によって「受けやすい」「受けたい」環境が作られ、2年連続の志願者増につながりました。2021年度入試では新設校の募集はありません。前年との違いは崇徳中の共学化だけでした。

右表の通り、志願者が減少した学校は少なくなく、広島学院中35名、修道中58名、ND清心中9名、広大附属中68名、広島なぎさ中52名、比治山女子中6名、山陽女学園中74名、市立広島中90名の8校。一方で、崇徳中194名、安田女子中156名、AICJ中111名、広島国際学院中77名と大幅に志願者を伸ばした学校もあります。崇徳中が倍増したのは、共学化が奏功した結果であることは明白です。

今年のように志願者を減らす学校と増やす学校、明暗がくっきり分かれたその背景には何があるのでしょうか。

●2021年と2020年の志願者数比較

学校名	2021	2020	増減	
広島学院中	613名	648名	▲35名	
修道中	873名	931名	▲58名	
ND清心中	561名	570名	▲9名	
広島女学院中	717名	715名	+2名	
広大附属中	男子	545名	592名	▲47名
	女子	461名	482名	▲21名
広島なぎさ中	男子	319名	362名	▲43名
	女子	258名	267名	▲9名
AICJ(本校入試3回)	475名	364名	+111名	
修大ひろしま協創中	289名	241名	+48名	
広島国際学院中	378名	301名	+77名	
広島城北中	607名	590名	+17名	
崇徳中	359名	165名	+194名	
安田女子中	990名	834名	+156名	
比治山女子中	226名	232名	▲6名	
山陽女学園中(全)	113名	187名	▲74名	
市立広島中	421名	511名	▲90名	
県立広島中	744名	912名	▲168名	
県立叡智学園中	334名	285名	+49名	

広島市は古くから中学受験が盛んな土地柄です。前身が藩校で約300年の伝統を持つ修道中を筆頭に、創立100年を超える広島女学院中、国立大附属の広大附属中、さらに戦後派の学校でありながら着実に地域に根ざして多くの俊英を世に輩出してきた広島学院中とND清心中の5校が中心になりながら、その他多くの優れた私学が中高一貫教育を実践しています。

2021年度入試では、俗に「広島男女御三家」と称される広大附属中・広島学院中・修道中・ノートルダム清心中・広島女学院中の5校の志願者に関しては、2名増加の広島女学院中を除き、軒並み減少しています。

●「男子御三家」志願者推移

	2021	2020	2019	2018	2017
広大附属中	545	592	604	617	594
広島学院中	613	648	644	669	698
修道中	873	931	902	995	1056
計	2031	2171	2150	2281	2348

昨対93.5%

●「女子御三家」志願者推移

	2021	2020	2019	2018	2017
広大附属中	461	482	418	474	459
ND清心中	561	570	546	550	553
広島女学院中	717	715	741	752	746
計	1739	1767	1705	1776	1758

昨対98.4%

前年比で「男子御三家」が93.5%、「女子御三家」が98.4%、特に男子の減少が顕著です。広島の大半の受験生が出願するこの5校の志願者が前年と比べて減少しているということは、2021年度の中学受験マーケットは縮小したと考えるべきでしょう。

にもかかわらず、総志願者数が増加したのは、単純に「男女御三家」以外の学校が志願者を増やしたからに他なりません。これは入試日程が長期化したことと複数回入試の拡大が主因です。

■入試の分散・長期化で併願が容易に

●入試日程

日	2020年度	→	日	2021年度
4			4	AICJ
5			5	山陽女
6	AICJ		6	
7	城北／国際／山陽女		7	崇徳
8			8	
9	愛光		9	愛光／国際／比治山／協創
10	西大和〈広島会場〉		10	西大和／城北／山女
11	比治山／国際		11	
12			12	国際
13	安田		13	
14	協創		14	
15	なぎさ		15	
16			16	市広
17	AICJ		17	城北／安田
18	市広／山陽女		18	
19			19	なぎさ
20	修道／女学院		20	AICJ
21	学院／清心／安田／比治山／AICJ		21	AICJ
22	広大附属／比治山		22	安田
23			23	修道／女学院
24	協創		24	学院／清心／比治山
25	県広／附属東雲		25	広大附属
26			26	
27			27	山女
			28	
			29	城北
			30	県広／附属東雲

※2020 2/1山陽女 2/2崇徳後期

※2021 1/31崇徳後期

広島市の中学入試では、私学が入試解禁日を設定しますが、国立や公立の中学校は独自に日程を決定します。

2019年度の私学入試解禁日は1月22日(火)に設定され、その後の6日間に国公立中を含め16校の入試が集中しました。入試日程が重複したり、連続したりしたため、併願したい学校の受験を見送り、受験校数を抑えざるを得ませんでした。

その反省から、2020年度入試では、解禁日は1月1日に大きく前倒しされました。志願者の多い「男女御三家」や県立広島中は大学入試センター試験後に入試を設定し、その他の多くの学校はそれ以前に入試を行い、日程の重複は激減しました。

2021年度入試は前年同様の入試日設定となりました。1月4日AICJ中入試Iを皮切りに、その後多くの学校が入試を行いました。「男女御三家」は終盤の1月23日から3日連続となります。受験生にとっては「長期戦」となったものの、受験校の選択肢が広がり、本命校の前に「前受け」して試験慣れができる機会が増え、各家庭の教育観に応じて併願しやすい状況が生まれました。

●安田女子中志願者推移

2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014
990	834	423	651	695	655	698	732

※2019年を除き2日程で実施

安田女子中は入試を前期と後期の2日程とし、昨年ノートルダム清心中と重複していた後期日程が他校との重複がなかったため、志願者が激増しました。意欲的に改革を行っている安田女子中の人気が高まっているのは確かですが、990名の志願者には前期・後期の2日程とも出願している受験生も多く、実受験者となるとかなり減少します。これは他の複数回入試を行う学校も同様で、重複した出願を延べで算出するため、「見かけ上」の志願者が増大しているだけとも言えます。複数回行う入試の中で一番志願者の多い回の志願者数が実志願者に近い数字なのかもしれません。

■複数回入試、特色入試の利用広がる

2021年度入試に、複数回入試を実施したのは、安田女子中、比治山女子中、山陽女学園中、ひろしま協創中、広島国際学院中、崇徳中、広島城北中の7校。

広島城北中は新たに医進コースと進学コースの2コース制を導入し、医進コースに限定した自己推薦入試、医進コースと進学コースを選択して受験する4教科入試、進学コースを対象とした2教科入試、計3回の入試を設定しました。

安田女子中は、前期と後期の2日程。両日程とも専願と併願の2方式で募集し、特進と総合の2コース制を導入しています。

AICJ中は、東医Hと早慶国の2コースを設置し、12月のエリア外での専願の自己推薦入試(146名出願)に加え、1月に本校で3回の入試を実施。受験生は最も都合の良い回で併願でき、また同校を第一志望にする者にとっては4回の受験機会を得ることができます。さらには4教科入試だけでなく、算国+英語入試もあり、英語の得意な受験生は受けやすくなっています。

また、広島なぎさ中など多くの学校で専願と併願の両方を募集、広島国際学院中のように特待生認定を与える入試と公立の一貫校を志望する受験生が受験しやすい適性検査入試を行うなど、様々な特色を持った入試が行われています。

試験日程を見ながら、同一の学校に複数回出願する受験生が一定数いたため、総志願者数の増加につながったのが2021年度入試と言えます。

●複数回入試と特色入試

複数回入試	協創・国際・崇徳・安田・比治山・山女・城北
専願・併願制	なぎさ・国際・協創・崇徳・安田・比治山・山女・城北
特色入試	AICJ・国際・協創・山女・崇徳
複数コース制	AICJ・安田・城北

●男子受験動向（英進館鯉城学院実績より）

入試日			出願率	欠席数	5校以上	4校	3校以下
1/4	月	AICJ I	29%		63.6%	25.2%	11.2%
1/9	土	国際特待	4%	1			
1/9	土	愛光	19%				
1/10	日	西大和	13%				
1/10	日	近大附	11%				
1/12	火	国際適性	4%				
1/16	土	市立広島	11%	3			
1/17	日	城北4科	68%	2			
1/19	火	広島なぎさ	23%	7			
1/20	水	AICJ II	6%	3			
1/23	土	修道	94%				
1/24	日	広島学院	92%	1			
1/25	月	広大附属	71%				
1/30	土	県立広島	28%	16			
1/30	土	附属東雲	12%	10			

* %は男子塾生全体に対する出願率

出願率から、修道中・広島学院中・広大附属中の3校は大半の男子受験生が志望する学校だとわかります。今年も「前受け候補」が数多くあり、腕に覚えのある上位生は松山の愛光中や西大和学園中の広島会場入試のいずれかを選びました。

23日以降にピークをもってくるため、17日の広島城北中と19日の広島なぎさ中のいずれかを併願しています。その他 AICJ 中の1回と2回、広島国際学院中(特待・適性)、公立の一貫校である市立広島中が「前受け校」として併願されました。5校以上を出願したのは全体の63.6%(昨年は74.7%)。県立広島中と広大附属東雲中の志望は徐々に増えていますが女子ほどではありません。修道中・広島学院中・広大附属中の結果判明後の試験となるため欠席者が増えるのは無理もないでしょう。

●女子受験動向（英進館鯉城学院実績より）

入試日			出願率	欠席数	5校以上	4校	3校以下
1/4	月	AICJ I	34%		70.3%	21.6%	8.1%
1/9	土	国際特待	14%				
1/9	土	愛光	3%				
1/10	日	西大和	4%				
1/10	日	近大附	4%				
1/12	火	国際適性	9%	2			
1/16	土	市立広島	18%				
1/17	日	安田前期	64%				
1/19	火	広島なぎさ	31%	1			
1/20	水	AICJ II	9%				
1/22	金	安田後期	41%	21			
1/23	土	女学院	92%				
1/24	日	N D清心	91%				
1/25	火	広大附属	84%				
1/30	土	県立広島	34%	9			
1/30	土	附属東雲	18%	9			

* %は女子塾生全体に対する出願率

女子は広島女学院中・ノートルダム清心中・広大附属中の3校を主軸とする受験となります。枠が狭く難化著しい広大附属中ですが、それでも数多くの受験生がチャレンジします。「前受け校」は安田女子中の前期入試に集中していますが、AICJ 中、広島国際学院中、広島なぎさ中なども候補となります。今年安田女子中の前期と後期、AICJ 中1回と2回の両方に出願する受験生が少なくなると、男子よりも23日以前の出願校数が増えました。安田女子中後期では同校の前期入試や他校で合格した人の欠席が目立っています。男子よりも県立広島中や広大附属東雲中の志願者は多いものの、広大附属中やノートルダム清心中に合格した場合、受験を棄権する人も少なくありません。

●出願校数・受験校数推移（英進館鯉城学院実績より）

		2021	2020	2019	2018	2017	2016
男子	出願校数	5.38	5.18	4.88	5.57	5.55	5.42
	受験校数	4.96	4.96	4.72	5.17	5.20	5.04
女子	出願校数	5.68	4.99	4.75	5.20	4.92	5.04
	受験校数	5.12	4.72	4.40	4.28	4.30	4.46

上表の通り、英進館鯉城学院の塾生の受験結果では、男女とも出願校数は大きく増加しています。「受験しやすい」入試日程だったことと複数回入試の利用が多かったことが要因でしょう。女子の出願校数の増加が目立ちますが、5校以上出願した受験生の場合、安田女子中と広島なぎさ中の併願、安田女子中前後期とAICJ中入試IⅡの複数回受験などが中心となっています。男女ともに受験校数が大きく減っているのは、早めに合格を勝ち取り、その後の併願校の受験を棄権して本命に備えた結果でしょう。

■コロナ禍の影響

2021年度の中学受験はコロナパンデミックが大きな影響を与えました。

入試そのものの変更も行われました。広島学院中は入試の時間を短縮(算数ⅠとⅡ合わせて60分→算数50分、国語60分→50分、理社各50分→各30分)、配点を変更(算国各120点→各100点、理社各80点→65点)しました。また、ノートルダム清心中と広島女学院中は面接を中止しました。昼食時間を作らず、試験を長時間にしないための措置です。

ただ、学校サイドの対応にも限界があります。追試の設定はありませんでした。もし受験時にコロナウィルスに感染したり、濃厚接触者になったりすると受験できません。一生に一度の中学受験の機会を失することのないようにと、ある時期小学校を休んで受験に備えたという人も少なくなかったようです。

寄宿舎のある学校や遠方にある学校で志願者が減少しているのはコロナ禍の影響があるのかもしれませんが、また、遠方から広島市の学校への受験、進学をためらい、実受験者の減少につながったということも考えられます。しかし、いずれも具体的なエビデンスがないため、実情はわかりません。

コロナ禍の影響は来年以降の中学入試に徐々に現れてくるのではないのでしょうか。中学受験学習、中高6年の通学を考えたとき、経済的な安定は一つの条件となるでしょう。それがコロナ禍で経済的基盤が揺らいでしまった場合、中学受験を選択したくてもできないというケースが出てくるかもしれません。

子どもたちが学びたい学校で学ぶ、子どもの可能性を拓ける機会と環境を守る、これはわれわれ大人に課せられた大きな使命だと思います。

■「男女御三家」を中心にして展開される広島市の中学入試！■

■人気難関校で終わる入試

広島市では、修道中・広島女学院中・広島学院中・ノートルダム清心中・広島大学附属中という古くから英才を育ててきた5つの伝統校を中心に中学入試が実施されています。この5校がいつものような入試を行うかによって併願の仕方も大きく変わってきます。

2021年度入試では、1/23（土）に修道中と広島女学院中、1/24（日）に広島学院中とノートルダム清心中、1/25（月）に広大附属中が入試を行い、「男女御三家」が広島市の中学入試のトリを飾る格好になりました。23日以前に併願校で受験に慣れ、できることなら合格して自信をつけて、本命に臨むという流れです。3日連続入試となりましたが、修道中・広島学院中・ノートルダム清心中の合格発表が広大附属中の中入試日だったことで、多くの受験生は合否結果に影響を受けることなく、最後まで存分に力を発揮して戦えたのではないのでしょうか。

■高い競争率による狭き門

広大附属中はノートルダム清心中・広島学院中と並ぶ広島市最難関校の一つです。定員は120名（男女計）と少なく、特に女子では第一志望とする受験生が多いため、大変狭き門となっています。

算国各100点、理社各60点で筆記試験320点と150点満点で評点化される調査書、そして志望理由書による選抜は大変な難関で、「受験しても受からない」と判断して、公立と私立の一貫校にターゲットを絞ってもおかしくない状況ですが、1000名を超える志願者数はその人気の高さを物語っています。

合格者数は厳しくおさえられています。連絡入学の志向の強い附属小学校からの合格者数に応じて、外部一般受験者の合格者を決めています。2021年度入試では、合格者数が169名、前年よりも23

名も減少しています。近年、定員120名に対して入学者が超過している状況が続いたため、さらに合格者を減らしたものと思われます。結果、男子は5.2倍、女子は7.1倍という高い競争率になりました。外部一般の女子は432名の志願者に対して合格者は50名に絞られ、8.6倍という高い競争率で、合格証を手にするのは最も困難な選抜になっています。

附属小学校からの連絡入学には「下駄」をはかせ、外部一般の合格者と学力的に差があると言われた時代もありましたが、近年、外部一般生と内部附属生の差はなきに等しい状態です。2021年度入試における英進館鯉城学院の生徒の結果を見ても、内部附属生で合格した生徒は合格者全体の中～上位に位置しており、ほぼアドバンテージはないと言って良いでしょう。

●過去8年広大附属中志願者数推移

内 訳		2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014
一 般	男子	514	563	574	587	557	617	587	571
	女子	432	452	390	445	420	460	450	437
内 部	男子	31	29	30	30	37	35	38	39
	女子	29	30	28	29	39	37	40	36
計		1006	1074	1022	1053	1149	1115	1083	1259

●過去8年広大附属中合格者数推移

内 訳		2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014
一 般	男子	90	105	130	135	115	125	135	130
	女子	50	55	65	55	60	65	65	65
内 部	男子	14	17	19	14	19	18	17	20
	女子	15	15	8	17	14	14	20	15
計		169	192	222	221	208	222	237	230

2021 年度入試の問題も国立の広大附属中らしいものでした。広大附属中の入試問題は難問やパターン問題を含む私学型の入試問題とは質が異なります。問題文をていねいに読みこんで、その場で調べながら考え、あきらめることなく解答する姿勢で、4 教科ともミスなく得点できるバランスの取れた受験生でなければ合格は難しいと言わざるを得ません。

■入学手続き日程の延長と補欠の繰り上げ

前述のように、1 月 4 日から入試は始まったものの、多くの受験生が本命前の「前受け」として併願校を受験し、1 月 23 日以降で第一志望の受験を迎えるという流れが主流でした。

早めに入試を行った学校は入学手続き期間をどう設定するかに頭を悩ませたことと思います。安田女子中、広島なぎさ中、広島国際学院中の専願合格者、広島城北中の推薦合格者、AICJ 中の東医 H コース合格者は早めの手続き締切となりました。専願ゆえ、上位コースゆえに早めに締め切っても無理はないという判断です。一方で、広島城北中、広島なぎさ中、安田女子中、AICJ 早慶コース等、上記以外の併願合格者の手続き締切日は「男女御三家」の合格発表後に設定されました。上位志望校の合格発表前に入学手続き金を収めるのは合格をいただいたとは言えども経済的につらいところです。そうした事情を私学サイドが勘案し、入学手続き締切日を設定したことで、よけいな出費が抑えられたことは幸いでした。

男女御三家の入試が 1/23(土)～ 1/25(月)の 3 日間に集中したことは、追加合格、つまり補欠の繰り上げにも影響を与えました。

各校定員を充足させるため、追加合格候補、いわゆる補欠を出します。入学手続き書類を取りに来る合格者の数によって、発表直後から繰り上げが始まり、併願校の合格発表と入学手続き、入学辞退に応じてその後も繰り上げは続きます。当然のことながら、追加合格の人数は決まっておらず、年によって大きく異なります。

入学者数は今後 6 年間の学校経営を大きく左右するため、定員いっぱいにとりたいたいというのが学校の思いです。その結果、入学定員に欠員が出るたびに追加合格を出すこととなりますが、A 校に逃げれば B 校が、B 校に逃げれば C 校が、というように、追加合格の連鎖、「追加合格ドミノ」が起こります。

2021 年度入試では、修道中・広島女学院中・広島学院中・ノートルダム清心中は広大附属中の合格発表翌日の 1/28(木)にそろって入学手続きを締め切りました。次頁表の通り、広島女学院中はノートルダム清心中の発表直後から、ノートルダム清心中は広大附属の発表日に、修道中は広大附属中の発表と広島学院中の繰り上げ状況を受けて繰り上げを開始しました。

広島学院中は 28 日の指定時間に追加合格の連絡予定でしたが、当館では確認できず、多くの候補者が悔し涙に暮れました。修道中の補欠対象者は今年は 84 名。近年、修道中は人気が高く、広島学院中や広大附属中に合格しても修道中へ進学する受験生が増えています。補欠者には成績により 3 段階に分けた順位がつきます。2021 年度入試では、「補欠 1 位～ 26 位段階」、「補欠 31 位～ 56 位段階」、「補欠 61 位～ 78 位段階」の 3 段階に分けられました。今年は、広島学院中の繰り上げの影響がほぼなかったため、追加合格は第 1 段階の候補者までに留まった模様です。

公立の市立広島中や県立広島中は定員ちょうどしか合格者を出しませんし、追加合格候補の案内もありません。欠員が出るたびに追加合格の知らせが入ります。正確な数はわかりませんが、例年同様の追加合格が出ているようです。

ここ数年追加合格の出なかった広大附属中ですが、合格者を絞ったことで、男女とも若干名が繰り上がりました。広大附属中の発表で補欠となった受験生の繰り上がりが決定するのは、入学手続き完了時の私学への進学決定による辞退者の流れ、県立広島中と広大附属福山中の合格発表と入学手続き数次第となります。今年は 1 月下旬に女子が、広大附属中の入学者説明会が行われる 2 月 13 日の直

前に男子の追加合格が出ました。国公立中は不足した場合は必ず定員を充足するまで繰り上げをするため、今年のように繰り上げが長期にわたることもあります。

●2021年度主要校入試日&合格発表&追加合格繰上日
(英進館鯉城学院実績より)

		入試日	合格発表日	繰り上がり
1/23	土	修道／女学院		
1/24	日	学院／清心	女学院	
1/25	月	附属	学院／清心／ 修道	
1/26	火			
1/27	水		附属	清心
1/28	木			修道／女学院／清心／附属
1/29	金			附属／市広
1/30	土	県広／東雲		
1/31	日			
2/ 1	月			
2/ 2	火	附属福山		市広
2/ 3	水		東雲	修道／市広
2/ 4	木		県広	市広
2/ 5	金			修道／市広
2/ 6	土		附属福山	
2/ 7	日			
2/ 8	月			県広
2/ 9	火			附属
2/10	水			
2/11	木			
2/12	金			附属

追加合格であっても合格者と何ら差はありません。ただ一度のテストにおいてあと1点、あと1問足りなかつただけで学力差はありません。「宙ぶらりんの状態」に苦しい時間を過ごした分、今後の成長の糧になる貴重な経験をしたととらえてください。

■「入試の分散・長期化」の功罪

2021年度入試では、1月4日のAICJ中1回から2月2日の崇徳中後期まで約一ヶ月に及ぶ長期日程になりました。第一志望者の多い「男女御三家」までと考えても3週間。この入試の分散・長期化の功罪をどう判定すべきでしょう。

本命前に試験慣れする機会が増えたこと、一人ひとりの学力と志向に応じた併願できること、受験が連続せず、ゆとりを持って試験に臨めることはメリットと考えるべきでしょう。一方で、緊張感を維持するのが難しいことがデメリットかもしれません。不合格に落ち込んだり、合格に気がゆるんだりするのは、十二歳の子どもであれば無理からぬことです。だからこそ、大人のサポートが重要だと言えるでしょう。

■中学受験を牽引する私学の魅力

私学には国公立校にはない建学の精神と独自の教育方針があり、わが子の成長にとって大きな意味を持つ中高 6 カ年を優れた環境で、と願う保護者の方は根強くいます。

今、そうした保護者の思いをしっかりと受け止めて、より良い学校づくりをすすめようという機運が広島私学の私学で高まっています。

次の文章は、暮れも押し詰まった 2020 年 12 月 28 日に修道中学校の田原校長先生が受験生にあてたものと、1 月 23 日の入試当日に広島女学院中学校渡辺校長先生から受験生に送ったことばです。受験生のそばに寄り添い、不安になりがちな 12 歳の小さな心には火をともし、これこそ私学ならではのメッセージです。

修道中 HP 2020/12/28 [私立学校を受験する君へ]より

受験勉強を頑張っている皆さん、はじめまして。修道の校長、田原です。

2020 年度は世界中がコロナ騒動！！

日本でも長い期間、今なお様々な人々が様々な形での「自粛」を強いられています。

皆さんにとって大切な学校生活も、学校休業という形で削られました。また、受験のために塾通いすることも普段通りにはなかったと思います。

あらゆることに「がまん」が必要な今、もう直前に迫っている受験シーズンをなんとか前向きに迎えることはできないのか、皆さんが今頑張っている姿を想像しながら私なりに考えてみました。

学校や塾で、友達と励まし合いながら勉強することができない。受験勉強のストレスを友達と遊ぶことで解消することもできない。ただでさえ、受験というプレッシャーがあるのに、さらに

やりたいことができないという「がまん」を強いられている今、何か前向きに考える方法はないのか？

あります！！

先生方の指導などに頼って自分を動かすのではなく、「自分で考える」ことで自分が自分を動かすという、一歩進んだ発想で残り少ない受験生活を送るという方法です。

今までの先生方の指導を思い出して、自分の苦手教科のこと、自分の精神的な弱点、すべてを自分の頭の中で整理して、それを克服する計画を自分で立てるのです。正しく完全な計画でなくてもかまいません。自分で考えて自分でその克服法を具体的に立案、実行することそれ自体が実はとても大切なことなのです。

友だちがそばにいないと弱気になってしまうという自分の傾向が頭の中で整理できたら、友だちと会えない状態で、友達と励まし合える方法を自分で考えてください。苦手科目についても、残り少ない受験本番までの期間にこれだけは必ずやっておこうということを自分で考えて計画を立ててください。

今、受験の結果について不安を感じる必要は全くありません。

入試が終わって、すべての結果が出てからしっかり悩めばいいのです。結果を自分勝手に想像して、悩んだり、元気をなくしたり、あきらめたりするのではなく、今日から入試の日までの自分について「自分で考える」ことに全力で集中してください。

皆さんが受験という貴重な体験を通して学ぶことは、小手先の学習のテクニックではありません。受験勉強を体験することで、皆さんのこれからの人生において最も大切な「自分で考える」ということを学んでいくのです。

寒い日々が続きます。体調管理も「自分で考える」ことが大切

です。
皆さんの頑張りに敬意を表して、修道を代表してエールを送ります。

2021 年度修道中学校入試に 874 名の志願者を迎えることになりました。

修道に入学して、楽しい学校生活を送りましょう！！

2020 年 12 月 16 日

修道中学校・修道高等学校 校長 田原俊典

※下線は当館による

広島女学院中 HP 2020/1/23

[受験された皆さんへ 校長からのメッセージ]より

受験生のみなさんへ

受験生のみなさん、今日までのがんばり、本当にご苦労様でした。中学受験を決め、その目標達成のため、毎日たくさん勉強したと思います。自分の夢の実現のために積み重ねた努力はとても尊いです。そして、それを支えてくれたご家族や周りの方々の、あなたを思う気持ちもとても尊いです。

今年は、コロナ禍の中での歩みでした。お友達との時間も十分にとれず、ひとりでくじけそうになったこともあったのではないかと思います。また、ひとりではどうにもならないことがあることを経験したと思います。その中、今日の受験までの歩みができることを心からうれしく思います。また、深く感謝いたします。

さて、受験した結果はすべての人の思い通りにはなりません。
思うような結果になったときは、これまでのがんばりをふり返

りましょう。苦しかったことを乗り越え身につけた学力、継続する力は、中学に入学してますます必要となる力です。学びあい、つながり合うことへの期待をふくらませてください。

思うように結果がならなかったとしても、自信をなくさないでください。あなたの可能性がこのことで小さくなったりしません。これからも前へ進むがんばる力こそが、今まで身につけたものです。

あらためて、本校を受験してくださり、ありがとうございました。本校も、コロナ禍の中、多くの行事ができず、苦しみながら歩んでいます。しかし、生徒一人ひとりが希望であると感じています。あなたたち、一人ひとりも、これからの日本の、地球の希望です。中学入学後も、あなたの夢を、あなたが楽しいと思うことを大切に挑戦し続けてください。あなたに、平安と健康がありますことをお祈りいたします。

広島女学院中学校 校長 渡辺信一

※下線は当館による